

2024年
10月

県内景況・確報

◎概況 県内景況は、拡大基調にある。

●2024年10月 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや良い

個人消費



やや良い

建設関連



ふつう

観光関連



やや良い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや良い

10月の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である新車販売台数は、前年同月を上回り、中古車販売台数も前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を下回りました。

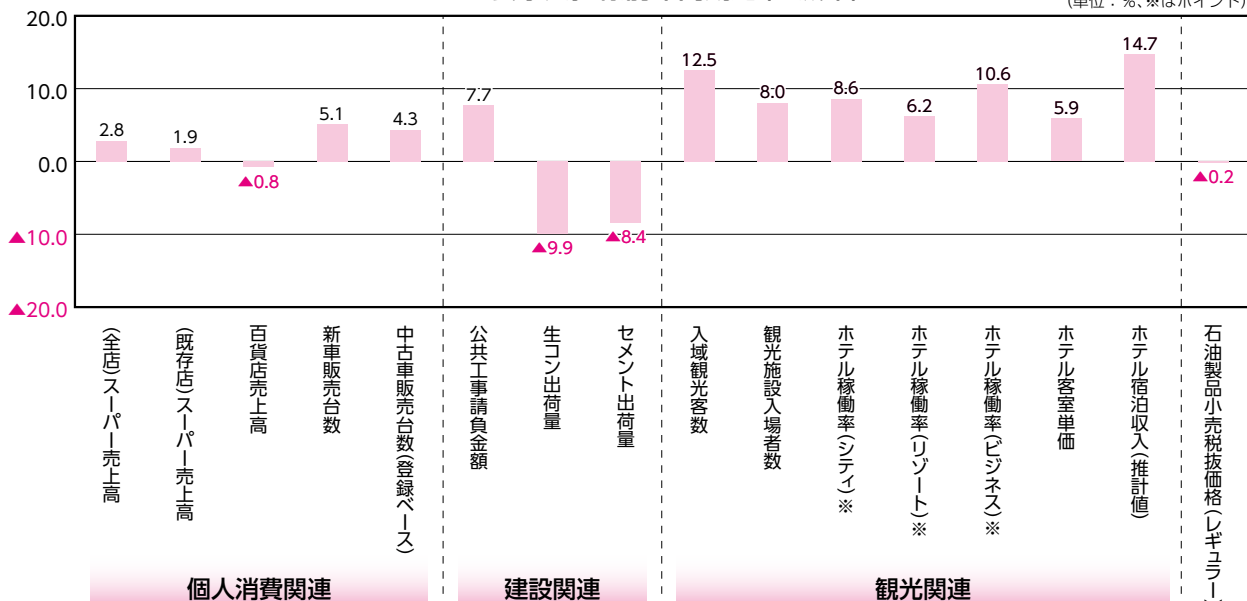
観光関連では、入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入（推計値）も前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、物価高の影響を受けながらも増加しています。建設は、このところ弱含んでいます。観光関連は、団体客や外国人観光客の増加などから、前年及びコロナ前を上回る水準で推移する指標がみられます。よって、「**県内景況は、拡大基調にある**」と景気判断を引き上げました。

(上方修正)

主要景気指標前年同期比(増減率)

(単位：%、※はポイント)





個人消費



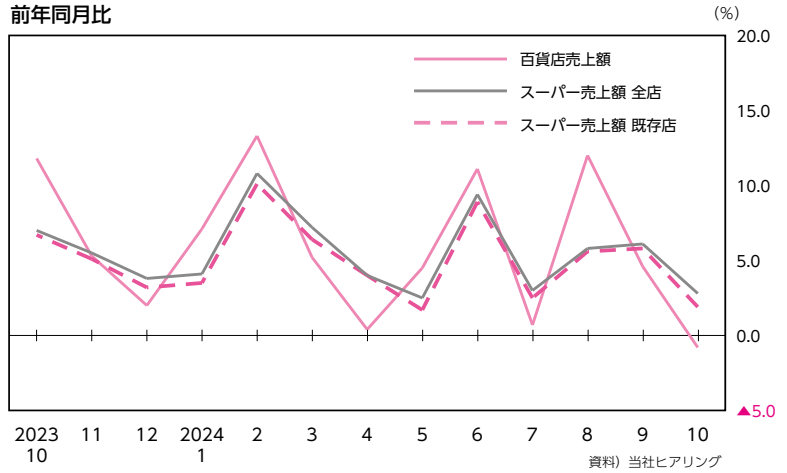
(やや良い)

① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

10月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース（前年同月比2.8%増）」は、29ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同2.4%増）」は、物価高の影響などにより前年同月を上回りました。「衣料品（同2.4%増）」は、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品（同7.1%増）」は、店舗数の増加などにより前年同月を上回りました。

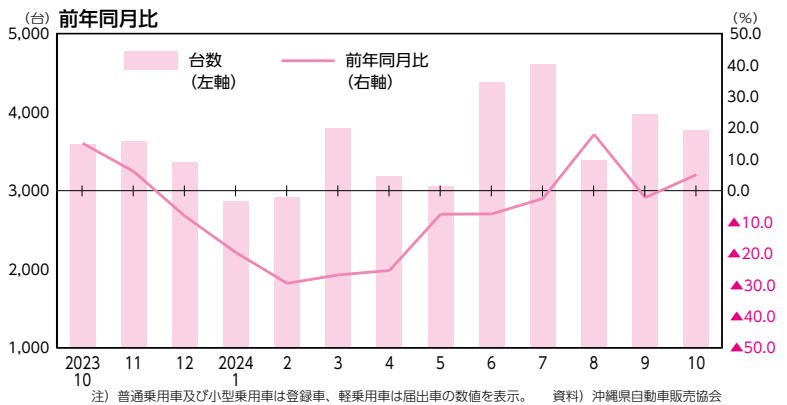
「既存店ベース（同1.9%増）」は、29ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品（同1.6%増）」、「衣料品（同2.8%増）」、「家庭用品（同3.6%増）」は、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、17ヵ月ぶりに前年同月を下回りました（同0.8%減）。品目別では、「食料品（同1.7%減）」は、催事企画の開催時期違い（前年比3日減）を原因とした伸び悩みなどにより前年同月を下回りました。「衣料品（同4.7%減）」は、前年同月を下回りました。「身廻品（同5.1%増）」、「雑貨（同9.4%増）」は、免税売り上げ増加などにより前年同月を上回りました。



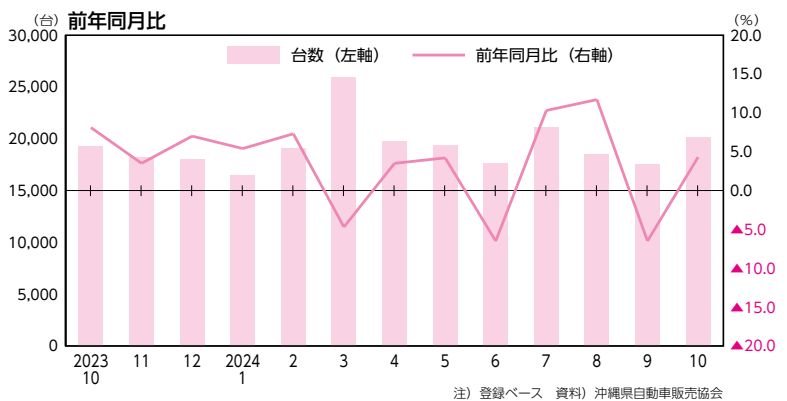
② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。

新車販売台数は、全体で3,773台（同5.1%増）となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車（同16.6%増）」、「小型乗用車（同1.9%増）」は、前年同月を上回りました。「軽乗用車（同2.0%減）」は、前年同月を下回りました。



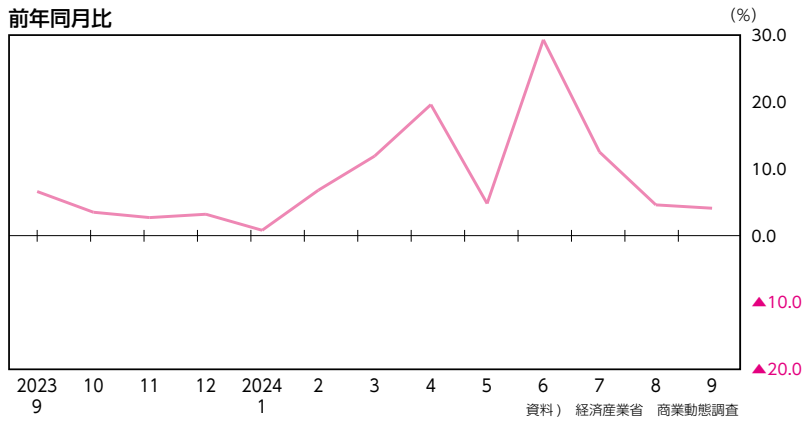
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数（登録ベース）は、全体で20,087台（同4.3%増）となり、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、「乗用車（同12.3%増）」は、前年同月を上回りました。「軽自動車（同0.8%減）」は、前年同月を下回りました。



④ 【参考：9月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。

大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。



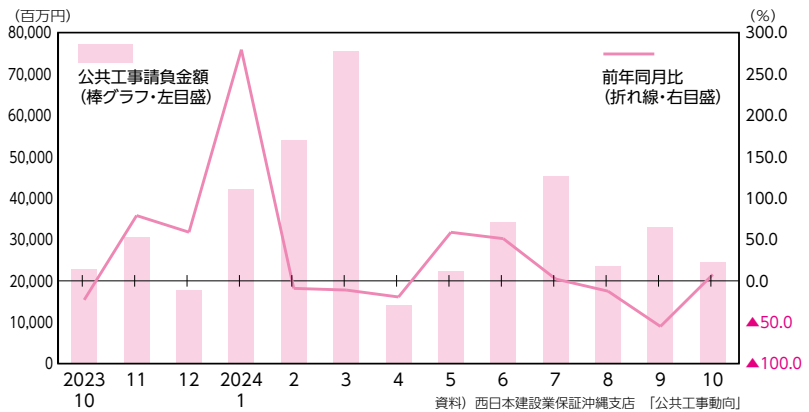
建設関連



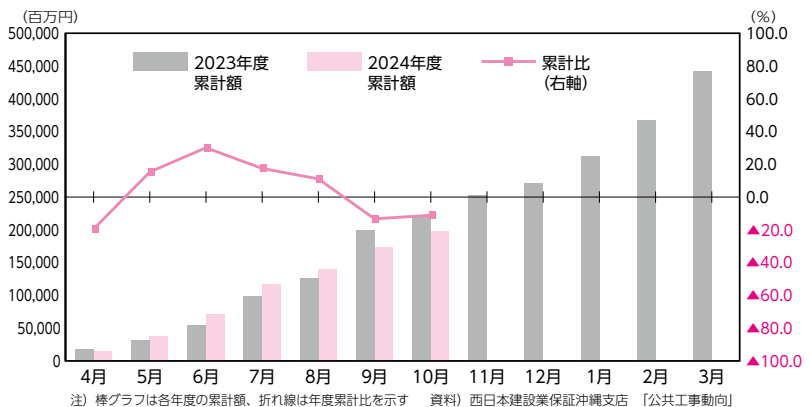
(ふつう)

① 公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

10月の公共工事請負金額は、前年同月比7.7%増の246億2,200万円となりました（3ヵ月ぶりに増）。
発注者別でみると、「国（同76.2%増）」、「その他の公共的団体（同43.1%増）」、「独立行政法人等（同17.0%増）」は前年同月を上回りました。一方、「市町村（同31.4%減）」、「沖縄県（同4.3%減）」は前年同月を下回りました。



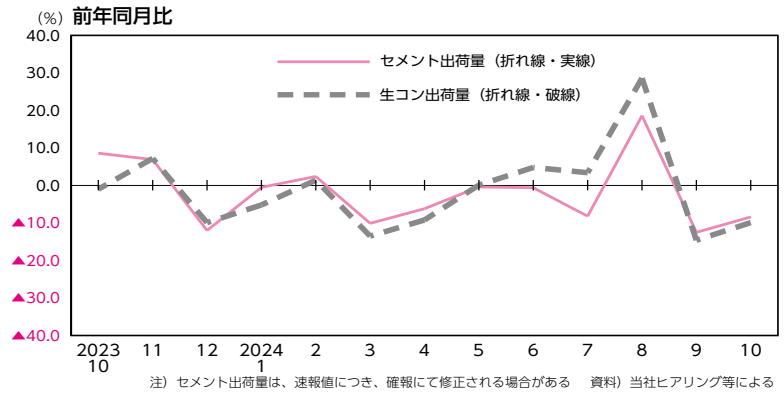
【参考】公共工事(年度累計)…公共工事請負金額は前年同期を下回る。





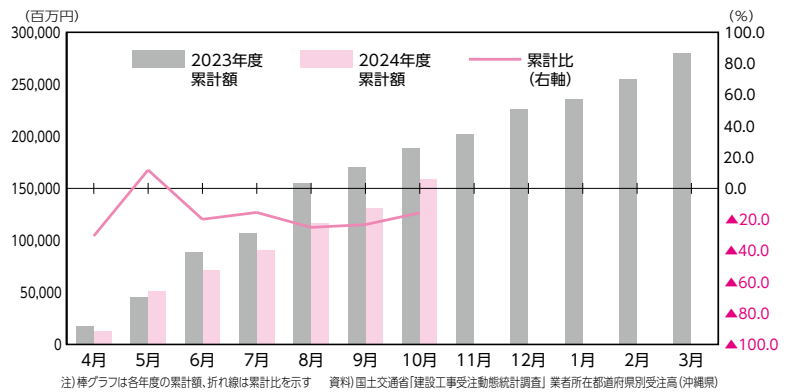
② 建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

建設資材関連では、生コンの出荷量は9.9%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳をみると、公共工事向けは、中南部地区、宮古地区、石垣地区での出荷が減少したことなどから前年同月を14.2%下回りました。民間工事向けは、全ての地区での出荷が減少したことなどから前年同月を7.4%下回りました。セメントの出荷量は、8.4%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りました。



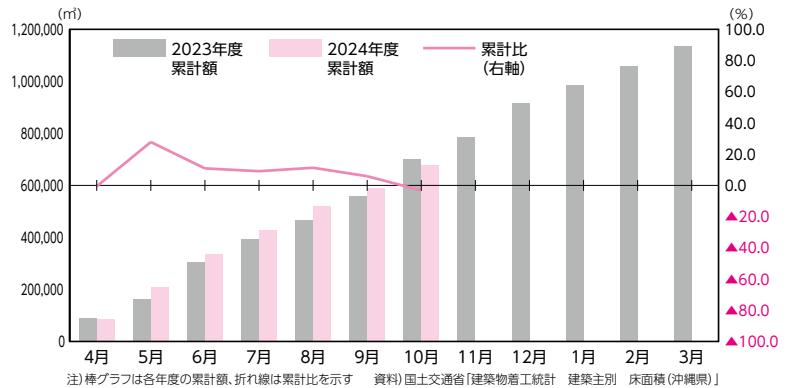
③ 【参考】民間等元請受注高(年度累計)…前年同期を下回る。

2024年度累計値では、15.7%減となっています。



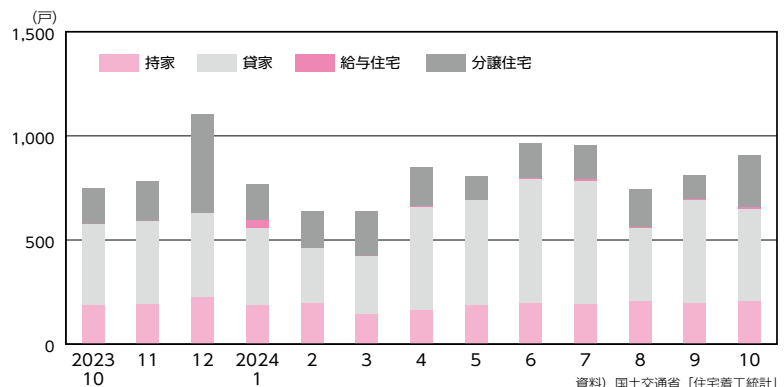
④ 【参考】民間着工建築物床面積(年度累計)…民間(会社+個人)着工建築物の床面積は前年同期を下回る。

2024年度累計値では、3.2%減となっています。



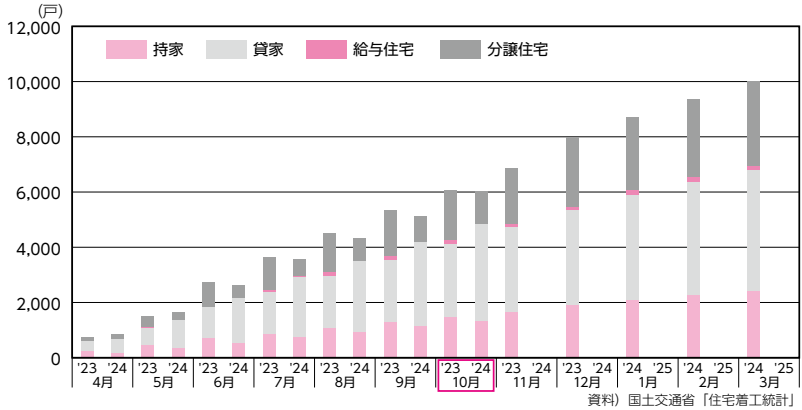
⑤ 住宅投資…着工戸数は前年同月を上回る。

10月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比21.3%増の906戸となり、3ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同47.6%増)」、「貸家(同13.5%増)」、「持家(同10.9%増)」は前年同月を上回りました。



【参考】住宅投資(年度累計)…着工戸数は前年同期を下回る。

2024年度累計値では、0.7%減
となっています。



観光関連

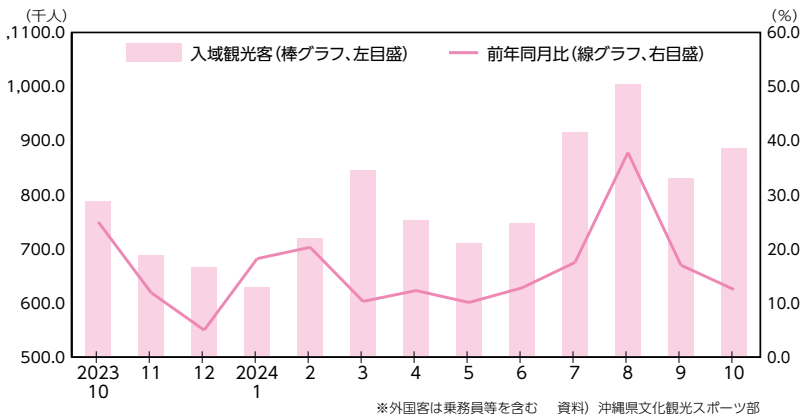


(やや良い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年同月を上回る。

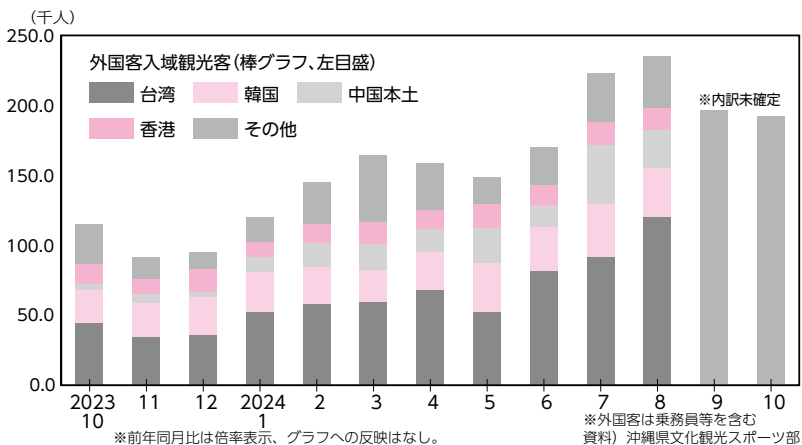
10月の入域観光客数は団体旅行の増加やイベント開催などにより、10月としては過去最高の886,700人(前年同月比12.5%増)となり、35ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、35,400人増加(4.2%増)と上回っています。2019年同月比(国内客)では、73,600人増加(11.9%増)となっています。



外国客 入域観光客数…前年同月を上回る。

外国客入域観光客数は、192,300人となりました(空路124,000人、海路68,300人)。今後も空路、海路ともに外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

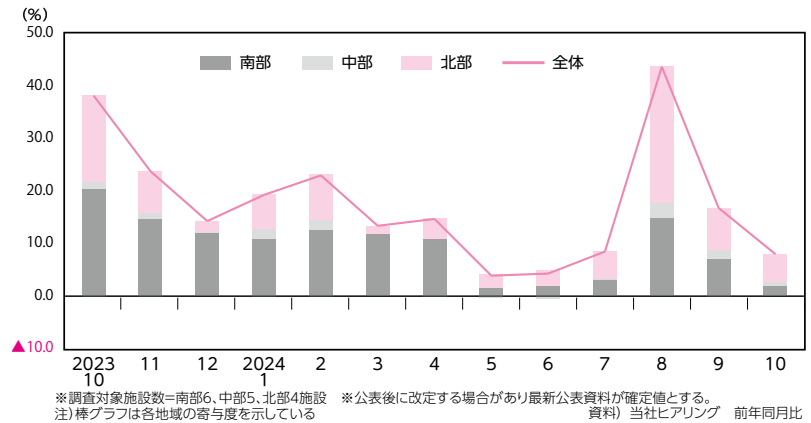




② 観光施設入場者数…前年同月を上回る。

10月の観光施設入場者数は、全体では8.0%増となり31ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別で見ると、北部の観光施設は10.5%増、南部の観光施設は4.7%増、中部は8.2%増となりました。

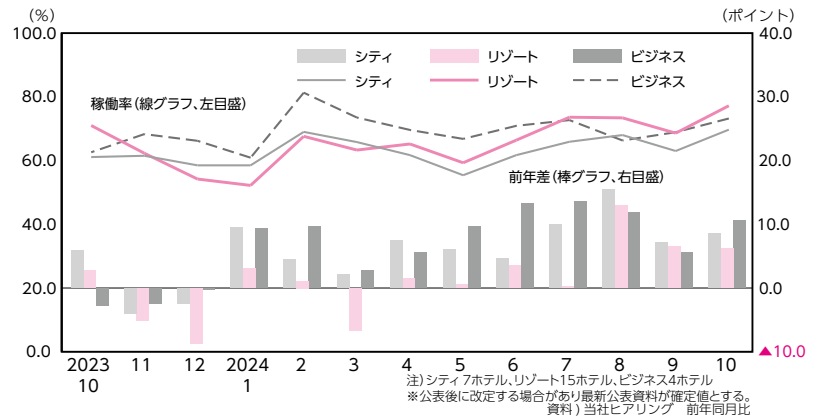
(参考)2019年同月比では、全体で18.5%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は9.6%の減少、南部は25.5%の減少、中部は32.8%の減少となっています。



③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を上回る。

県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比8.6ポイント増加、リゾートホテルは6.2ポイント増加、ビジネスホテルは10.6ポイント増加しました。

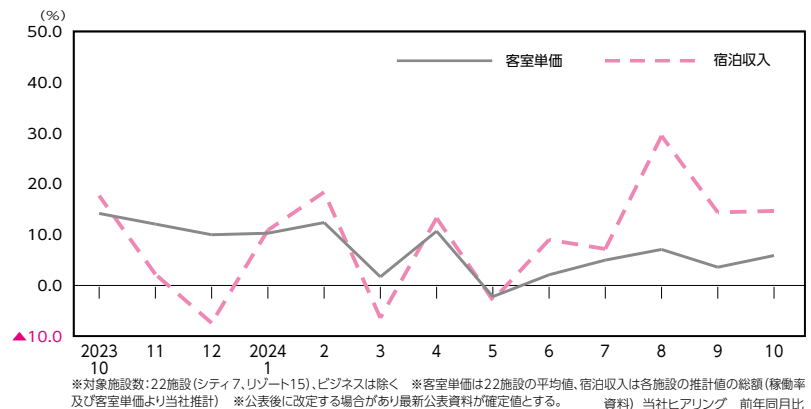
(参考)2019年同月比では、シティホテルは3.9ポイントの減少、リゾートホテルは0.8ポイントの増加、ビジネスホテルは3.2ポイントの増加となっています。



④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は5.9%増と5ヵ月連続で前年同月を上回り、宿泊収入は14.7%増と5ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は26.8%の増加、客室収入は27.6%の増加となっています。





企業倒産

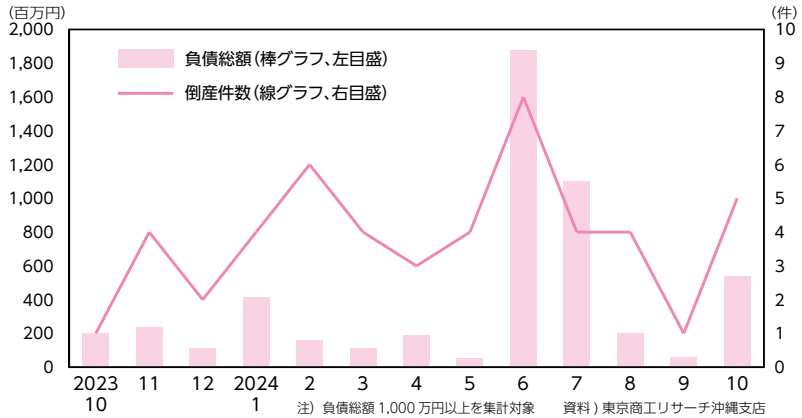


(やや良い)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を上回る。

10月の企業倒産件数は5件（うち1億円以上10億円未満の大口倒産は2件）となり、前年同月を400.0%上回りました。

負債総額は5億3,700万円となり、前年同月より168.5%上回りました。



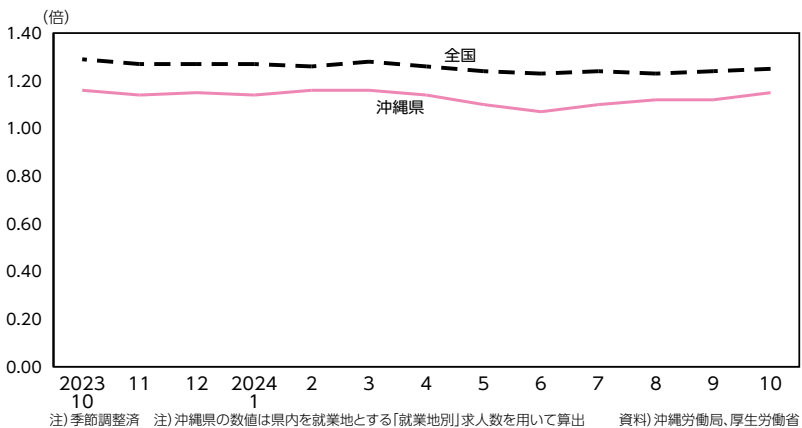
雇用関連



(やや良い)

① 有効求人倍率…沖縄、全国はともに前月より上昇。

10月の雇用状況は、月間有効求人数（季節調整値）が前月比0.5%減の32,385人に対して、月間有効求職者数（同上）は前月比3.3%減の28,122人となり、有効求人倍率（季節調整値）は1.15倍と、前月より0.03ポイント上昇しました。



② 完全失業率…沖縄は前月より低下、全国は上昇。

10月の完全失業率（季節調整値）は、3.4%となり前月より0.1ポイント低下しました。

